

好きだから起こる「デートDV」

問 教育委員会事務局人権・同和教育係 ☎ 0943-32-0093

身体的暴力	精神的暴力
<ul style="list-style-type: none"> 殴る、たたく、蹴る 腕をつかむ、ひねる 髪を引っ張る など 	<ul style="list-style-type: none"> 大声で怒鳴る、馬鹿にする 交友関係を制限する 無視する など
性的暴力	経済的暴力
<ul style="list-style-type: none"> 性行為を強要する 避妊に協力しない わいせつな雑誌や動画を無理やり見せる など 	<ul style="list-style-type: none"> デート費用を全く払わない 借りたお金を返さない 外で働かせせない、仕事を止めさせる など

相談窓口

- みんなの人権 110 番 ☎ 0570-003-110
- 女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810
- 子どもの人権 110 番 ☎ 0120-007-110
(平日 8:30 ~ 17:15)

ニューズなどで配偶者間の暴力が取り上げられるとき、よく家庭内暴力、DV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉が使われます。しかしこのDVは、配偶者間の暴力だけを指すものではありません。近年では配偶者や恋人など、親密な関係にある者（あつた者）からの暴力と捉えられています。

DVのうち、恋人間での暴力を「デートDV」といいます。この暴力には大きく分けて4つの種類があり（左図）、数種類が複合して起こることが一般的です。好きだからこそ一緒にいるはずの恋人間で、なぜ暴力が起こってしまうのでしょうか。

親密な関係だからこそ起こる暴力
デートDVの本質は、暴力で相手を自分の思い通りにしようという「力による支配」です。加害者、被害者どちらも「好き」という感情が根底にあるため、自分たちがデートDVに陥っていると気づきません。「好きな人と常に一緒にいたい」と思うのは自然だと考えるからです。

この思いがエスカレートすると、次第に相手の感情を無視して力で従わせたり、行動を制限したりと、価値観を押しつけて相手の心や体を傷つけます。親密な関係にあるからこそ起こるのがデートDVなのです。

被害者にもたらずもの
加害者は暴力により、被害者を自分の思い通りに従わせようと強要します。被害者は自分の意思や考えを伝えることができず、個人として最も重要な意思決定の自由を奪われます。気持ちがあたふたになり、不眠症や抑うつ状態、食欲不振に陥ったり、人間関係を維持しにくくなったりします。そのほか、

- 望まない妊娠で中絶しなければならぬ
- 性感染症にかかる
- 異性全体を「暴力を振るう側」として怖く感じるようになる

行動が制限され、学校や仕事に行けない
など、デートDVは被害者にさまざまな悪影響を与えます。

交際相手と対等な関係に
好きだからどんなことをしても許される、というわけではありません。交際相手と対等な関係であるため、次のことを心がけましょう。

- 暴力は認めない
どのような事情があっても、暴力による支配は間違いです。暴力を振るう、振るわれるということは、互いを尊重していない証拠です。
- 自分らしさを大切に
自分の気持ちや体を大切に。自分を押し殺して相手に合わせる必要はありません。いやなことははっきり「NO」と言いましょう。
- 相手のことも大切に
相手の話に耳を傾け、自分とは違う価値観を認めましょう。互いに認め合うことができていくか確認しましょう。

恋人からの暴力は、自分だけで解決するのは困難です。悩んだときは上記の窓口にご相談ください。

総合クラブひろかわ

- Grand Bird X'mas コンサート -

— 昨年大好評だった Grand Bird コンサートが、今年もクリスマスに開催決定！ 懐かしい歌謡曲やオールディーズ、グループ・サウンズなど、数多くの楽曲が演奏されます。

日曜日の午後のひとときを、青春時代に戻ってお楽しみください。

Grand Bird - グランバード -

久留米市を拠点に活動。広川町在住のメンバーを含む全員が60代の「アラ還バンド」です。

[日時] 12月15日(日)、14:00
～16:00(開場13:30)
[会場] はなやぎの里3階多目的のホール

[参加費] 500円(ドリンクあり)
※事前申し込み不要
※参加費は受け付け時にお支払いください。



☎総合クラブひろかわ事務局(教育委員会事務局生涯学習係内) ☎0943-32-0093

広川文芸

広川短歌会



朝の川にひとときはおほき音たててここを住処の魚がはねたり	山下 整子
朝露を踏んで歩めばせせらぎのわずかな流れ川底にあり	中川原勝代
ふるさとは遠くになれど目に浮かぶ親しみし山、友ら、うからら	結束 節子
神無月 雑木林のこもれ陽を拾ひつつ寺への散歩路とする	美座 時朗
休日の目的はこれ妹と九重筋湯の湧水を汲む	鹿田 恵
どしゃ降りの小栗峠を越え来ると名月照らす八女の街並み	高橋 和子
ひだり目の眼圧高く視力落ち目を細めては焦点合はず	野中ヨシ子
野分ゆきひそと開きし紅萩の花には花の初 <small>うぶ</small> ころあり	青木佳代子
晴れ渡り今宵の名月楽しみにお供への芋たつぷりと炒く	原 千恵子
トコブシもタコも採ったよあの海は思い出尽きぬ 故郷遙か	蓮子 住雄
湯の香り満喫しつつ街歩きひと坂きはめ足湯に憩ふ	野中 勝美
茜雲遠く遠くと拡がりて故郷いずこ晩秋の空	横山 方子
雨降りて大地潤う槇の根に秋茗荷の香り立ちくる	姫野 洋子